

令和 8 年度施政方針

人口減少が進む中、地域社会のあり方そのものが問われています。「この町をどう次の世代へ引き継いでいくのか」。その問いへの答えを出すのは容易ではありませんが、私たちはこれを、「九重町の新たな姿を描くための挑戦の機会」と捉え、前向きに歩みを進めます。施政を進めるにあたっては、今日・明日のためだけでなく、未来に向けて何を残し、どうつなげるかという長期的な視点を大切にしながら、地域の価値を磨く取り組みを進めます。

これからの時代に求められるのは、物理的な「モノ」の充実だけでなく、人とのつながりや体験、共に過ごす時間といった「コト」の価値を大切にするまちづくりです。住民にとって九重町が、誇りと愛着を感じられる場所であり続けるため、共生の精神を基盤とした施策を進めます。これらの歩みは、すぐに大きな成果として現れるものではないかもしれませんが、しかし、一つひとつの取り組みの積み重ねが、やがて九重町の未来を形づくる確かな力になると信じ、施政を進めます。

以上のことを踏まえ、第 5 次総合計画の 6 つの基本目標に沿って、令和 8 年度の方針と主な事業について、新規事業を中心に説明いたします。

こころを繋ぎ、みんなで作るまちづくり

人口減少が今後も続くことを前提に、「持続可能なまちづくり」へ転換していくことが重要です。その実現にあたっては、行政が一方的に施策を進めるのではなく、住民一人ひとりが地域の課題を自分ごととして捉え、意見や知恵を出し合いながら、ともに考え、ともにつくる地域づくりを進めます。

「持続可能なまちづくり」のためには、行財政の基盤が安定していることが欠かせません。引き続き、公共施設や行政サービスのあり方を検証し、将来を見据えた効率的かつ効果的な行財政運営に取り組みます。

併せて、デジタル技術の活用など新たな手段も積極的に取り入れながら、限られた資源を有効に活かし、住民と行政が役割を分かち合いながら、将来にわたって安心して暮らし続けられる町の実現をめざします。

- 九重町第 5 次総合計画の見直し

- 公共施設等総合管理計画(第2期)の策定
- 庁舎内業務 LAN の無線化
- 自治体情報システム標準化推進事業

地域の資源を活かし、いきいき働けるまちづくり

農業・畜産業の磨き上げを進め、地域の強みを活かした取り組みを推進します。観光分野では、九重“夢”大吊橋などの魅力度向上に向けた取り組みを進めるとともに、地域の観光資源を最大限に活用して「地域の稼ぐ力」を引き出していきます。また、町内産業の振興と連携により、町内外から多くの人々を引き寄せ、経済の活性化を図ります。

- 素牛(もとうし)生産効率化 1129(いいにく)造成事業
- 九重“夢”大吊橋魅力度向上周辺整備事業
- 九重“夢”大吊橋 20 周年イベント

自然とともに、心地よく暮らせるまちづくり

九重町の豊かな自然は、私たちの暮らしを支える大切な基盤であり、次の世代へ確実に引き継いでいくべきかけがえのない財産です。その恵みを守り、活かしながら、環境への負荷を抑えた持続可能な暮らしの実現をめざします。

自然と調和した暮らしの魅力は、町に暮らす人だけでなく、町外の人々を引きつける力にもなります。その魅力を活かしながら、移住・定住の促進や「関係人口」の創出・拡大に取り組み、町内外の人財や多様な知恵を地域づくりに活かしていきます。併せて、若者・子育て世帯移住・定住支援補助金などを通じて、九重町での新たな暮らしを後押しします。これにより、町内外の人々が「この町で暮らしたい」「この町に関わり続けたい」と思える環境づくりを進めます。

- 景観条例・計画に基づく届出制度スタート
- 草原サミットの開催(9月)
- 省エネ家電購入補助事業(物価高騰重点支援地方創生臨時交付金事業)
- リチウムイオン電池の拠点回収の開始
- 若者・子育て世帯移住・定住支援補助金
- 関係人口創出事業

安全・安心な暮らしを守るまちづくり

災害に強いまちづくりは最優先課題のひとつです。自然災害への備えを強化し、災害時に孤立する可能性のある集落への支援をします。また、災害時には一人ひとりが自助の観点から備え、地域全体で助け合う共助体制を構築することで、住民が安心して暮らせる環境を作ります。

- 災害時の孤立可能性集落への支援(防災・減災対策加速化支援事業)
- 空家等対策計画改定及び実態調査
- 特殊詐欺等防止機器導入補助(防犯カメラの追加)
- 移動困難者支援事業(物価高騰重点支援地方創生臨時交付金事業)

助け合い、みんなで支えるまちづくり

すべての人のウェルビーイング(幸せ)を実現するためには、地域全体で共生社会を築くことが重要です。その指針となる「第5次地域福祉計画」をはじめとした3つの計画を策定し、すべての人が支え合い、共に生きるための福祉施策を強化します。

- 第5次地域福祉計画の策定
- 第10期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定
- 玖珠町・九重町障がい者計画・第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定(玖珠町との共同事務)

地域に学び、ひとを育て、未来が輝くまちづくり

野上小学校の長寿命化工事に着工し、安全で快適な学びの場づくりをめざします。学校教育では、ICTの活用や協調学習の推進など、子ども一人ひとりの力と意欲を伸ばす取り組みを進めます。

また、公民館活動や社会教育を通じて、世代を超えて学び合い、地域の中で人が育つ「学びでつながり、共に育つまちづくり」を進めます。

さらに、社会体育や生涯スポーツの推進に取り組むことで、子どもから高齢者までが健康でいきいきと活動できる環境づくりを進めます。

- 野上小学校長寿命化工事の着工
- 学校給食費の負担軽減(一部物価高騰重点支援地方創生臨時交付金事業)
- みんなの集会所快適空間事業(各地区集会所の省エネエアコン整備への補助、物価高騰重点支援地方創生臨時交付金事業)

- 旧野上中学校体育館跡地等の有効活用に向けた環境整備
- やまなみハイウェイ拡幅工事完成記念イベント及び活用促進の検討

結びに

本町の町政を担う私たちは、地域を支え、未来を担うスタッフとして、町の幸せを将来につなぐため、高い理想を掲げつつも、現実を見据えた冷静な判断のもと、着実に施策を進めてまいります。

町は、そこに暮らす人々の行動や考え方が、長い時間をかけて積み重なり、少しずつ形づくられていくものです。行政が計画や制度によって方向性を示すことは重要ですが、町の姿そのものは、日々の暮らしや関わりの中で自然と「育っていく」ものです。

人口減少が進む中で、地域を支える担い手は少なくなっています。しかし、町は本来、特定の誰かがすべてを背負うものではなく、みんなが少しずつ力を出し合い、できることを分け合うことで成り立っています。

行政と住民がそれぞれの立場で役割を果たし、支え合いながら地域を維持していくことが重要です。誰かが100歩進むより、みんなが1歩ずつ進むことが、結果として、町をより安定的でしなやかな未来へと導きます。立場や年齢に関わらず、それぞれができる形で町に関わり、行政とともに九重町の未来を築いていきましょう。